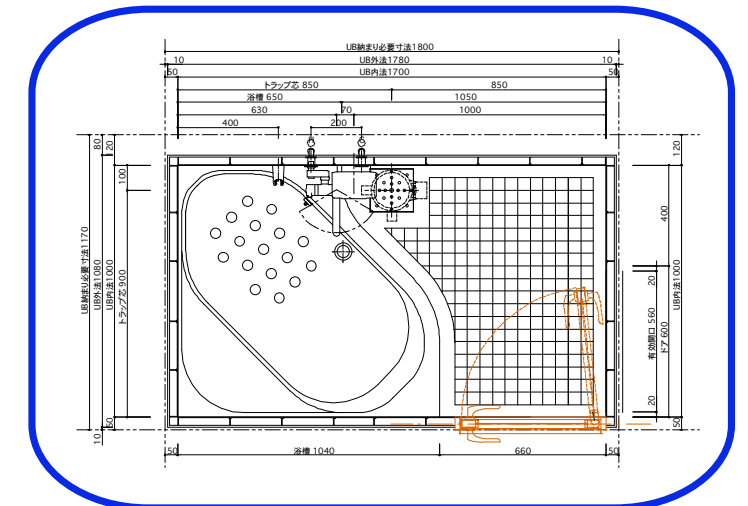
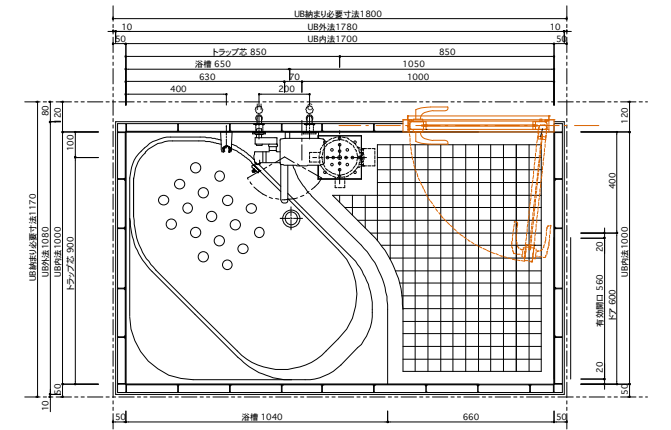
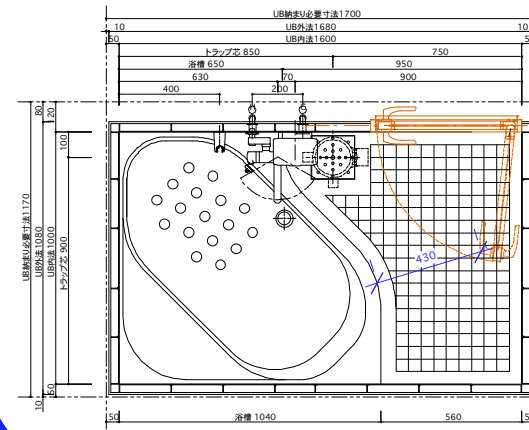
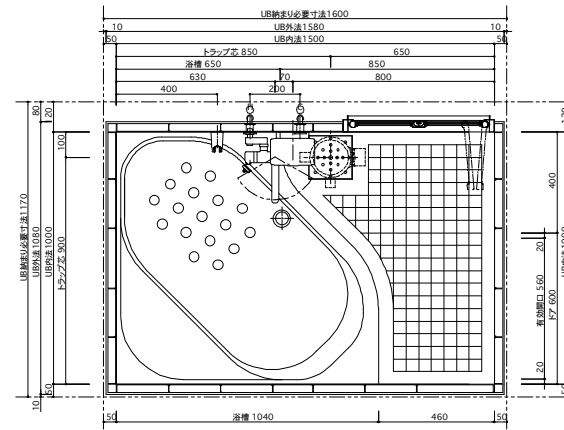
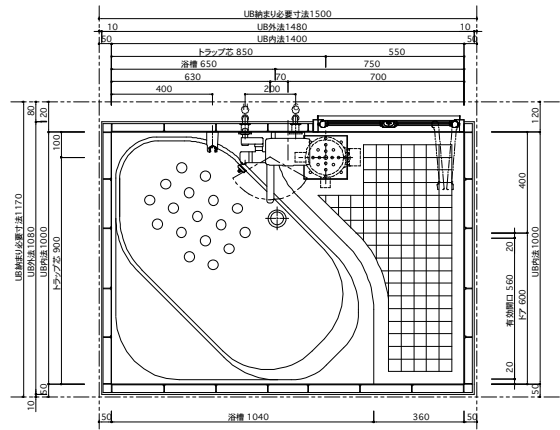
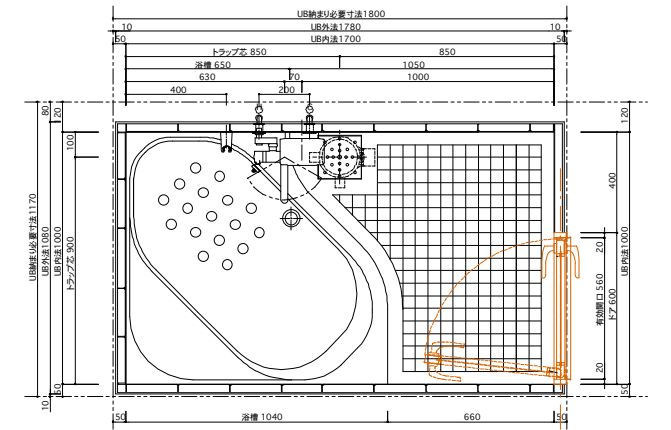
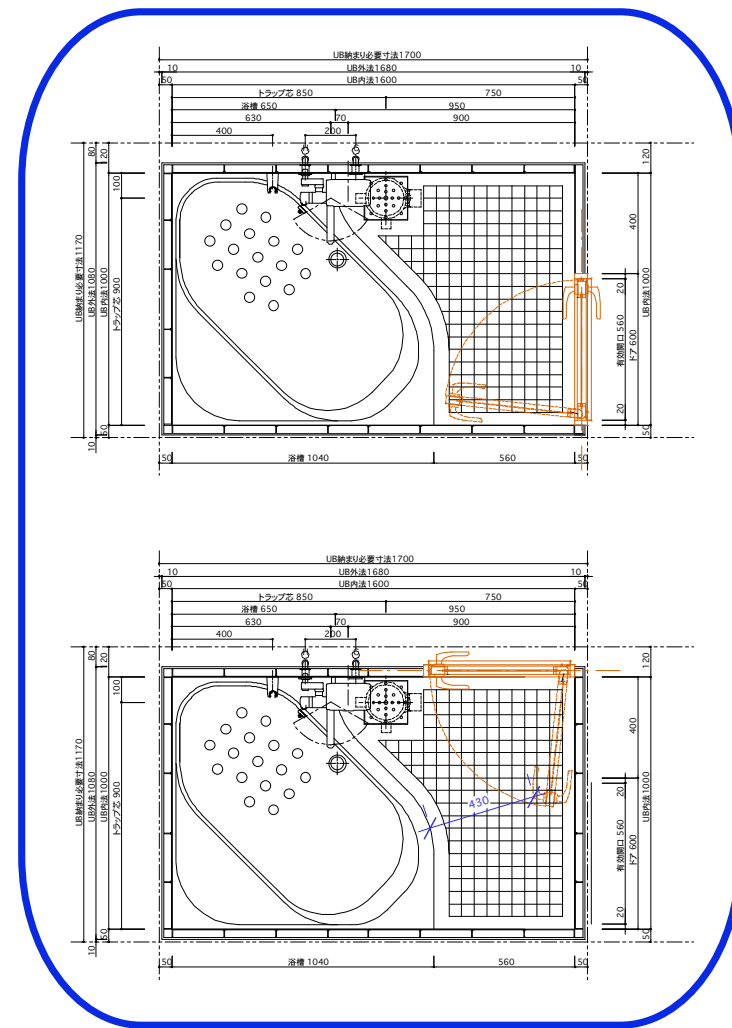
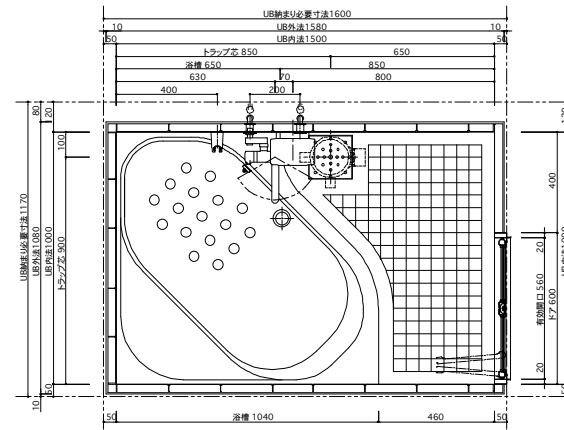
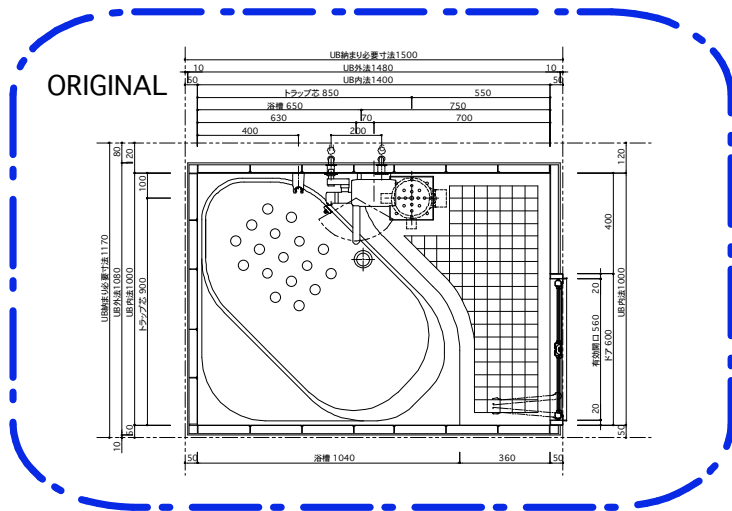


1014

1015

1016

1017



・オリジナルユニット1014の良さは、短辺1mの中に、1317を超えるサイズの浴槽が設置出来る点にあることを再確認する。ユニット短辺が小さいことは、別図(作成中)のように、集合住宅やホテルの企画上、非常に大きな利点となる。

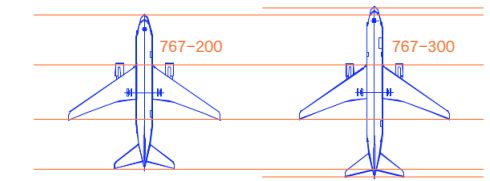
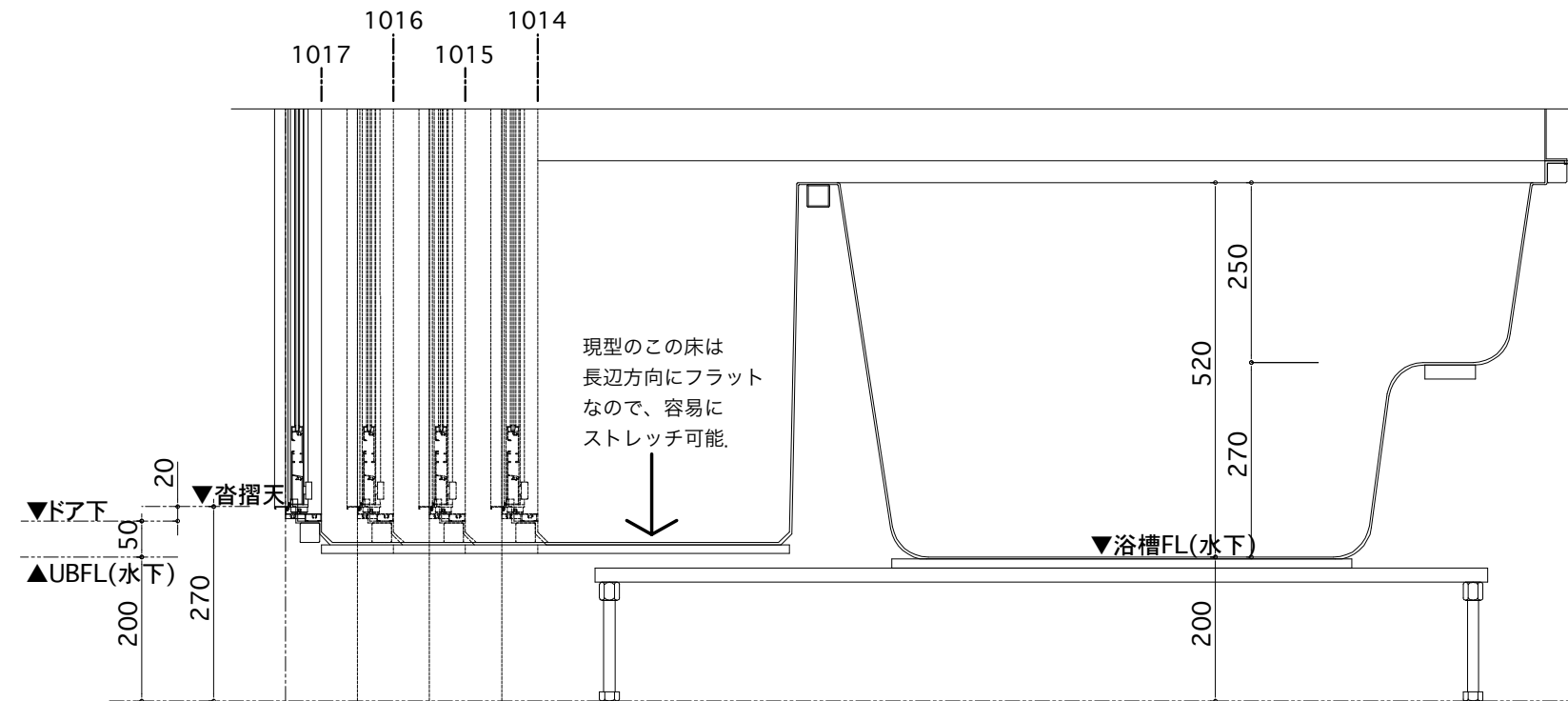
・『洗い場』を十分に確保することが、集合住宅市場に販売拡大する上では必須と思われる。

・上記から、流し部分を長辺方向にストレッチすることによる製品展開の可能性を検討する。オリジナル型の流し部分は、長辺方向に水勾配が無い設計であるため、製作上も容易に可能と思われる。

・現型でも2方向からの出入りは可能である。ただし折れ戸であり、長辺ドアの場合は若干出入りがしにくい。

・1016に達すると、開き戸が採用可能となる。洗い場としての機能も充分で、このサイズがストレッチ展開の主力と思われる。

・1017に達すると、逆側の長辺からも出入りが可能となり、この方向は出入りがしやすい。ユニット内の居心地も一段と向上するため、このサイズにも可能性がある。



開発-製作コストが多大な機能部分はそのままに、需要条件によってその他の部分をストレッチする手法は、航空機にも使われる。

検討の結果、オリジナルの1014に1016を加えて、●印の2型での販売対応となる。(2009.07)